

# 上中里・氷取沢地区 小規模校再編検討委員会ニュース

第 6 号

平成17年12月22日

発行：検討委員会事務局

## 平成17年12月11日 第6回検討委員会開催

今回は、前回に引き続き、主に統合校の設置場所について、議論しました。

検討の結果、「設置場所は、現上中里小」とする事務局案を検討委員会として了承しました。

次回は、統合校の校名案や統合校の特色づくりなどについて、話し合います。



平成17年12月11日 氷取沢小において

## 統合校の設置場所は、現「上中里小」とする事務局案を了承

前回の検討委員会では、統合校の設置場所について、「教育委員会に一任する」、「検討委員会で決定すべきである」等のご意見が出されました。また、話し合いの中で、事務局から「正副委員長と調整の上、事務局案を作成し、提示する」との提案も行いました。

このことを踏まえ、意見交換を行った結果、現「上中里小」を統合校の設置場所とする事務局案を検討委員会として了承しました。

### 統合校の設置場所にかかる事務局案

#### 1 設置場所

現「上中里小学校」の敷地・施設を活用することが望ましい。

#### 2 理由

##### 通学距離・通学時間について（毎日の通学安全から）

- ・ 統合校の通学区域のほぼ中央に位置する。
- ・ 通学区域のどこからでもおおむね30分以内で通学できる。

##### 施設・敷地について（多様な教育を行うために）

- ・ 有効面積や校庭面積が広い方が、学校行事や体育の授業等行いやすい。
- ・ 保有教室数の多い方が、少人数指導、パソコンルームなど様々な教育ニーズに対応できる。

氷取沢小は2教室の増築は可能だが、増築しても上中里小の教室数に及ばない上、耐震補強工事が必要になる場合がある。

- ・ 耐震面については、A棟は補強済みで、B棟は耐震診断の結果、必要であれば補強工事を行うため、強度の点では劣らない。

##### 防犯・防災について（万一の災害・事故に備えて）

- ・ 立地条件で3面が道路に接しているため、地域の目が届きやすい。
- ・ 緊急車両のアクセスがより容易である。
- ・ 出入口が3か所あるため、学校敷地からの一斉避難の際、避難しやすい。

出入口が多いことは、侵入者に対して弱いとの意見があったが、学援隊も導入されており、監視体制を強化すること等によって克服できると考える。

## 統合校の設置場所についての主なご意見・ご質問

今年6月26日に第1回の検討委員会が開かれ、委員として出席してから半年が過ぎた。この間、小規模校の定義、自分たちが住んでいる地域での子どもたちの減少の現実が否応なく突きつけられた。当初はその現実について行かれず、戸惑いがあったが、回を重ね、それぞれの小学校を見るに及んで、はっきりと子どもの数の少なさが分かってきた。各教室に置かれている机と椅子の少なさには驚きがあった。両校を比べるに当たり、教育方針、先生方の対応、校庭や体育館の広さ、使いやすさなど細かく見ればみるほど甲乙がつけがたく、「正副委員長・教育委員会への一任」という提案は、自分自身でも、また委員の方々も考えに考え、迷えば迷うほど適切な提案であったと思う。しかし、この半年、自分が一委員として、この委員会に出席していたので、委員としての自分の考えも示しておかなければならないと思った。そのため、各項目(学校の敷地、校舎、教室、耐震性、校庭、通学時間・距離など)について5段階評価し、自分なりの両校の評価を出した。その結果、自分の意見としては、現上中里小を設置場所とすることが良いと思う。その一番の理由は、「通学距離・時間」で、小学生の低学年にとって30分以上の通学時間は、やはり長いと思う。二番目に「校庭の広さ」で、上中里小と氷取沢小の子どもが集まってもなんとか収まるだけの広さが必要だと思った。この2点で自分は、現上中里小を設置場所にするのが良いのではないかという結論を出した。建物も防犯もそれぞれ一長一短があり、とても決めづらい。所属している自治会において、小学校に通っている子どもを持つ方々を中心に意見を聞いてみたところ、小学校をどちらにするかということについては「決まればどちらでもよい」という意見だったが、中学校については、現在の氷取沢小が浜中になるのか、富岡中になるのかという点について一番強い関心があった。

なお、自分も自治会の方々の意見も同じだが、施設を活用しない方の学校は、引き続き地域防災拠点としての役割を担ってほしい。また、氷取沢地区には近くに地区センターがないので、できればその機能も併せ持った施設にしてほしい。

氷取沢のメンバーから見ると「学援隊」という組織がどのようなものかよく分からない。今後、自分たちにもかかわってくる話だと思うので、活動の内容や時間帯などを詳しく教えてほしい。

学援隊については、現在、100人前後の方々にボランティアとしてご協力をいただいております。多くは上中里団地の方々です。通常、PTAの方々も働いているなど日中いないことが多いので、上中里団地の中で時間的余裕のある方々、「犯罪のないまちづくり」を推進している方々をお願いしています。活動内容・時間帯は、「見回り」を中心に、8時から10時、2時から4時という時間帯をみていただいておりますが、学校だけではなく、学校以外の公園、通学路をみていただいております。また、地域防犯も行っていると聞いています。さらに、学校でも教職員全員で取り組まなければならないため、下校時はまとまって帰るという指導を行い、どうしても一人で帰らなければならない場合は、家まで送って行くようにしています。今後、防犯について、どのようにしていくかは検討の余地があると思いますが、氷取沢小の方から積極的に自分たちも学援隊に参加したいということがあれば、統合は再来年度のことになります。 (上中里小校長)

---

## 前回の検討委員会のご質問とその回答

前回の検討委員会でお出されたご質問のうち、今回、事務局から回答することになっていたご質問について説明しました。

氷取沢地区の中で、「興人台磯子台マンション付近」(D地点)が一番遠いのではなく、氷取沢町651番地付近にも住宅がある。ここについての距離・時間はどうか。

地図情報ソフトで計測した結果、「興人台磯子台マンション付近」から氷取沢町651番地付近までは300mでした。同じ60/mで換算すると5分で、上中里小までは「興人台磯子台マンション付近」からの23分に上乗せすると28分となります。

(事務局)



## 統合校の特色づくりについて意見交換

「統合校の特色づくり」については、次回の検討委員会で本格的に話し合いますが、これに先立ち、簡単な意見交換を行いました。

### 統合校の特色づくりについての主なご意見

特色と言えるか分からないが、氷取沢小では、どんど焼き、ぞうり作り、竹細工などをやっている。そのようなことを今後も生かしていけばありがたい。

磯子区の中で農業専用地区があるのは、氷取沢地区だけで、その特色を生かして農家の方から直接、野菜の作り方の話を聞いたりすることを授業に取り入れている。また、畑を借りて全校児童でサツマイモを植え、収穫して、収穫祭のようなことも行ってきているので、できる範囲で残していけたらいいと思う。両校ともそれぞれこの地域ならではの活動があると思うので話し合っ、残せる部分はできるだけ残していただければいいと思う。

特色づくりについては、次年度が非常に重要な時期になると思う。あわてないで、じっくりとお互いの良さを洗い出しながら、経営にどのように組織立てていくかということ十分に考えて行く必要があると思う。そのことは、PTA活動や地域の行事、学校の教育活動についても言える。また、上中里小の校舎を使う場合、氷取沢小の子どもたちが寂しい思いをしないように来年度1年間かけて充実した交流をすることが大切である。教職員の方は、そろそろ考えているが学校行事等も両方で精査し、必要に応じて、職員会議、学年研究会等を通して、よく理解しながら進めていくことが重要だと思う。より良いものを作っていくために、お互い一緒に頑張っていきたい。

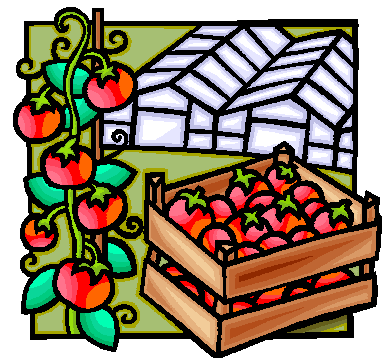
教育面では、今、外国語教育ということをよく耳にするが、国語が乱れているので、言葉の使い方など国語をきちんと教えてもらいたいと思う。外国語教育以前に、読み書きそろばんなど基本的なことをきちんとやってもらいたいと思う。

この学校をどのような学校にして、どのような特色をつくっていくかというところから始めていく必要があるのではないかと。例えば、地域の行事を反映した学校づくりをしようということになれば、それもいいと思うが、ただ単にいいものだから何でも入れていこうというのは、全然まとまりのつかないことになってしまうと思う。そのようなことは、校長先生ともよく話し合い、自分たちも意見を出し合っ、どのような学校にしたいかということを決めてからの方がいいと思う。来年は、交流の面で行き来を今まで以上多くして、お互いをよく理解することが必要だと思う。

自分たちが所属している「上笹下連合町内会」は、「自然とともに生きるまちづくり」という大きなスローガン掲げている。例えば、農業専用地区における畑づくりとか、市民の森を利用したホタル鑑賞などがあり、自然や農業専用地区ということが、この地域の特徴だと思う。それを考えていく必要がある。

### 農業専用地区とは...

都市農業の確立と、都市環境の保全を目指し、横浜市が昭和44年に創設した制度。市長が指定した地区で、市の農業施策を重点的に実施し、総合的、計画的に地域農業の振興を図る（氷取沢農業専用地区：面積20.9ha）



## その他のご意見・ご要望（回答は、事務局）

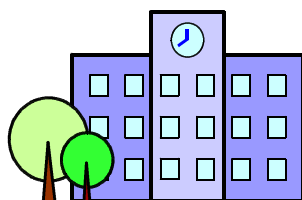
検討委員会の中で跡利用に関するご意見・ご要望がありました。跡利用については、本検討委員会の検討項目ではありませんが、会議の中で次のようなご意見・ご要望がありましたのでご紹介します。

使わない方の学校も地域防災拠点としてそのまま置いてもらえるという解釈で良いか。

昨年統合を着手した地区でも、使わない方の学校を地域防災拠点として残してほしいという要望があります。市としての結論がまだ出ていませんので、この地区についても現時点では残すとは言い切れません。地域防災拠点については、区役所総務課等と詰めなければなりません。教育委員会としては残してほしいという要望が出ていることを引き続き関係局に伝えて行きたいと思えます。

学校開放で氷取沢小も活発に使わせていただいている。市民図書についても近くに図書館がないので、地域の方も是非残してほしいと思っている。上中里地区の方も利用しているし、なくなるという方向だけはできるだけないようにお願いしたい。また、他にもバドミントン、空手、体操、サッカーなどいろいろな活動を行っているのご理解いただきたい。

学校が学校教育以外に果たしてきた役割は、市民図書も校庭体育館事業も含めて大きいと思いますので、今日この場で約束はできませんが、関係部署に働きかけをしていきたいと考えています。



### 次回検討委員会の日程

平成18年1月6日（金）午後7時から  
上中里小学校で開催予定

### ホームページのご案内

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

基本方針等：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>

小規模校再編検討委員会へのご意見は、EメールかFAXで事務局にお送りください。ご意見は、検討委員会のなかで報告・検討させていただきます。

上中里・氷取沢地区小規模校再編検討委員会事務局

横浜市教育委員会事務局学校計画課 Eメール：[ky-isogo@city.yokohama.jp](mailto:ky-isogo@city.yokohama.jp)

FAX：045-651-1417 電話：045-671-3252